

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

コロナになって知ったこと

船橋市立湊中学校

第三学年

大塚

萌葉

寒い。体中ほてって熱いのに、ずっと悪寒が治まらない。全身痛い。筋肉痛？関節痛？とにかく痛い。これ、結構ヤバいかも。

八月十四日、午前6時。早朝から私を叩き起こしたのは、お母さんでも、お父さんでもペットのおおちゃんでもなく、三十九度八分の高熱と全身の痛みでした。

二日後、何とか家族全員が動きまわれる状態になり、息は絶え絶え、足はフラフラ・・・で何とか車に乗り、少し遠くにある二和病院に向かいました。

医師も看護師も、優しく対応してくださり、久々に人と関わりました。結果はコロナ陽性でした。それも家族三人全員が。

優しい時もつかの間、お会計が近づくと、先ほどまで明るく、柔らかい表情だった両親の顔が、少し硬張っていました。むしろ青ざ

めてすらいるような・・・？

「・・・いくらだろう。」

診察券を機械に入れながら、母が呟くと丁度値段が表示されました。

「えっ。こんなするの？」

私は思わず声を上げました。今日、検査以外何もしていないのに！しかし、私の診察券を入れると、表示が「三百円」に。

「ええ！なんで？急に安いじゃん！」

私は更なる衝撃を受けました。あ然とする私に母は、

「子ども医療費助成制度だよ。ほんと助かるよねえ。」

と教えてくれました。

八月二十日、日曜日。熱は治まったし、体も全然痛くない。しかし、味覚と嗅覚を完全に失い、生きている意味すら感じなくなるほど、後遺症に苦しめられる今日この頃。

今、私は子ども医療費助成制度について調べていました。私は、

「高校生への医療費助成が始まりました！」

という船橋市のサイトを見つけ、読んでみることにしました。それは、今まで「子ども医療費助成制度」の対象年齢は中学三年生まで

だったが、今年度からは高校三年生の年齢（十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日まで）まで拡大する、という内容のものでした。

「ありがたい・・・。」

と切実に思いました。

私は、幼稚園に入る以前から花粉症を発症したり、プールを習っていた影響で中耳炎にかかりやすくなったり、生まれつき肌が弱いこともあり、小さい時から何度も病院に通っていました。治療代は三百円、薬代は無料という優しい制度があったから、今日まで健康に生きてこられたのです。そしてそれは、国民の皆さまが日々働いて、税を納めてくださっているからできることなのだ、改めて感じました。

「いつもありがとう、日本に生まれてきて本当に良かったです。」